



参加者が健康教育の在り方を考えた大会

子どもの心ケア 食育指導に意見

東北学校保健大会

健康教育の推進を目指して関係者が研究協議する「東北学校保健大会」は4

日、福島市で始まった。5日まで、参加者が子どもの心のケアや学校保健、食育指導などさまざまな課題について意見を交わす。

県学校保健会や県教委の主催。東北6県の持ち回りで毎年開かれている。教員や学校給食の関係者ら約650人が参加した。

佐藤武寿大会実行委員長、杉昭重県教育長らがあいさつ。いわき海星高(いわき市)の養護教諭と小高中(南相馬市)の元養護教諭が東日本大震災の体験を発表した。震災直後の状況や生徒の心のケアのための取り組み、その中で見えてきた課題などを報告した。

日体大総合研究所長の武藤芳照氏が「児童生徒の運動器と運動を大切に」と題して講演した。5日は分科会が開かれる。